よくわかる公共事業

令和4年度

国道４０７号（西矢島町工区）電線共同溝事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策３：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

■所在地：太田市西矢島町
■路線名： 国道407号
■事業内容： 電線共同溝 延長 600m（両側延長 1,200m）
■全体事業費：約5億円
■事業期間：平成27年度～令和6年度（10年間）
■現在の交通量(H27)：32,041台/日（自動車）
：　63人/日（歩行者）
：　574台/日（自転車）
■緊急輸送道路：第1次緊急輸送道路
■重要物流道路：基幹道路

事業位置

どのような目的を達成するための事業か

・災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して電柱を撤去します

地元の声

・景観向上と災害時のインフラ確保を期待している。（地元住民）
・近隣の市街地では電線の地中化が進捗しており、事業の必要性を認識している。（地元区長）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
電柱倒壊のおそれ	あり	なし

実施前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。

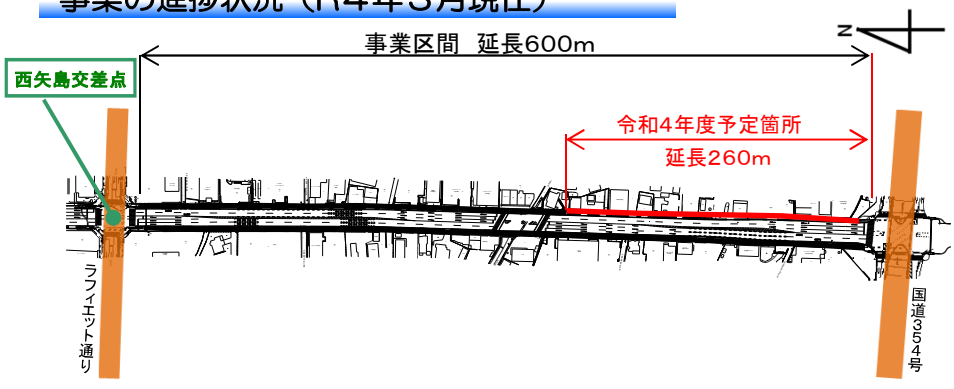
事業前の状況

実施後

◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。

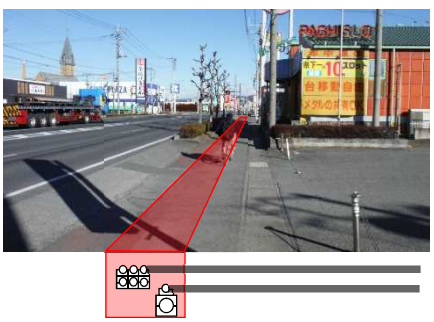
完成している電線共同溝区間

事業の進捗状況（R４年３月現在）



今、何をしているか

令和４年度は、東側歩道の電線共同本体工事を実施いたします。



事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――●・・・・・● 事業完了